

第21回 12月1日(木) 13:00～14:30

選択の自由と枠

～発達障害のある4人の子どもを育てる中で～



堀内祐子氏

自閉症スペクトラム支援士、特別支援士
傾聴心理士、ゆるみ☆子育て代表

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

発達障害をもつ4人の子どもの母親。子育てをする中、通信制の大学で発達障害や心理学について学び、自閉症スペクトラム支援士、特別支援士、傾聴心理士の資格を取得し、自身の経験を基に2006年より全国で講演を行う。NHKハートフォーラム・教育委員会などから講演依頼があり、日本全国に赴き活動。今まで300回以上の講演や研修を行っている。著書は、「発達障害の子とハッピーに暮らすヒント」を始め、4冊出版。3冊目の本「ADHDと自閉症スペクトラムの自分がみつけた未来」は、韓国でも出版。また日本教育心理学会にて、シンポジウムのパネリストとして「特別支援教育における学校と家庭の連携」を発表。子育て、不登校、引きこもりなどに悩む方のカウンセリングを行っている。

<担当スタッフより>

公開講座「総合」の今年度のテーマ『自画像を描く～“枠”から気づく自分の世界～』を聴いた時、皆さんが真っ先に思い付いた「枠」とはどんなものでしょうか。私にとってそれは、自己理解の際に立ちはだかる、社会の規範や自身の思い込み、伝統的な社会通念でした。しかし「枠」とは本当にそれだけでしょうか。また、私たちの周りに存在する「枠」とは既存のものばかりなのでしょう。

今回の講演が、「枠」の多様性や「枠」を自らの手で創造することについて、堀内さんの長男・謙人さんの「枠があった方が生きやすい」という言葉から見つめ直し、同時に今の自分に足りない「枠」とは何なのかについても考えてみるきっかけになれば幸いです。